

## 蠍座ラグナ

トリコーナ	ドウシュタナ トリシャダ ウパチャヤ	ケンドラ マラカ	ドウシュタナ 敏感な中立
ケンドラ	<b>蠍座ラグナ</b>		トリコーナ
トリシャダ ウパチャヤ			ケンドラ ウパチャヤ
敏感な中立 マラカ	Asc トリコーナ ケンドラ	トウシュタナ 敏感な中立	トリシャダ ウパチャヤ

機能的吉星	木星、月
機能的凶星	水星、火星、金星
中立	
マラカ	水星、他の凶星
備考	木星はマラカにならない

蠍座は水の星座ですが、水とは感情・情緒を表わします。

情念の世界です。一般に水の星座である魚座、蟹座、蠍座の人は、思いやり深く親切ですが、魚座、蟹座の支配星が木星や月で吉星なのに対して、蠍座は火星であり、凶星であるため、過激でしばしば人に害をもたらすような執念深い行動へと発展します。

蠍座において情念が肯定的に出るか否定的に出るかは、非常に大きな問題です。

もし否定的に出た場合にはストーカー行為などに発展します。脅迫、恐喝などの行為も、おそらくこれに該当します。

火星が蠍座に在住、あるいはアスペクトバックするような場合は要注意です。

然し、もし蠍座に木星が在住するような場合は、とても人に気を使う献身の人となるのであり、蠍座の情念の強さは、諸刃の剣と言えます。

実は日本の伝統社会を形づくっているのが、この蠍座なのであり、日本のエスタブリッシュメントは、この蠍座で形成されています。日本は暴力団、やくざ、右翼、民族主義者、宗教家グループなどが相互に関わりながら、日本の重要ポジションを占めて来たのであり、自民党が岸信介、児玉誉士夫、笹川良

一などの政治家、財界人によって作られて、児玉誉士夫が共産主義運動をやくざ、暴力団を動員して妨害したという事実にも表れています。

話が脱線しましたが、蠍座ラグナは木星が魚座5室を支配する為、感情的な判断をします。義理・人情とか仁義というのが該当します。一つの情緒的な道德原理で判断しています。

5室魚座では水星が減衰するので、論理的な判断能力が損なわれており、その代わりに直感的、情緒的な判断が優れています。

然し、義理・人情、仁義などの情緒的な道德原理によって思考停止して、論理的な判断能力が働かない為、しばしば最も騙されやすい人でもあります。

例えば、蠍座の暴力団と揉め事が起こった時に、双子座の人が法律理論を振りかざして、うんちくを述べるだけで、相手は降参するかもしれません。

蠍座ラグナは、水星が8室と11室を支配して、かなり強く凶星化します。

この8室支配の水星とは、かなり狡猾で頭のよい人物を表わしており、そうした人物に騙されやすいことを表わしています。

蠍座ラグナの人は、論理的判断能力を表わす水星が8室を支配する為、騙されやすい、信じやすい人になり、言葉巧みに理論的に説得する相手に簡単にころりと騙されてしまいます。

朝三暮四という四字熟語がありますが、語源は中国の「列子」や「荘子」などの故事に由来しています。

話としては、春秋戦国時代に宋の国に狙公という猿好きの老人がいて、猿が増えて家計が苦しくなったため、飼っている猿に与える餌を減らそうと考え、狙公は「これからはトチの実(どんぐり)を朝に三つ、暮れに四つやる」と言ったところ、猿が「少ない」と怒ったため、「朝に四つ、暮に三つやる」と言い直したところ、猿は喜んで承知したという話です。

蠍座ラグナの人は、この話の中に出てくる猿のように騙されやすい人と言えます。

またこの猿はアメリカに騙される日本人のことを指していると言えます。

金融自由化とか郵政民営化というキャンペーンを張って、あたかも日本経済のために自由化が必要であるという錯覚を起こさせて、その実、日本の金融市場をこじ開けて、保険会社や銀行、企業を安く買い叩いて、最終的に郵貯300兆円の資金を奪い取ろうとするアメリカのユダヤ系金融財界人と、日本の政治家、国民の関係が、まさにこの狙公と猿の関係に等しく、そして、この猿は、蠍座の騙されやすさと一致しているのではないかと考えられます。

			Ma Ve Ju Su
Mo	USA 1776-7-4 AM 10:21:30 Philadelphia, Pennsylvania		MeR Ra
Ke			As
			Sa

これはアメリカのチャートを見ると、一目瞭然ですが、11室双子座への惑星集中が、ユダヤ系金融財界人とエスタブリッシュメントを表わしており、それは蠍座ラグナにおける8室支配の水星の表示体となっているのです。

日本のやくざもロスチャイルドの下請けに過ぎないのだという話を聞きますが、日本のやくざがロスチャイルドからお金を貰って、彼らの政策のために操作されているというのはいり得る話です。

米軍基地問題も、日本はアメリカ軍に駐留してもらって、有り難いと思うように仕向けられている感がありますが、本当は米国の国家戦略上、日本に基地がないと困るというのが本当なのであり、この辺りでも騙されやすい蠍座の国民性がよく出ています。

かなり話が大きくなりましたが、蠍座ラグナは水星が8室を支配しているため、騙されやすいというのは明記すべきです。

もう一つ、蠍座ラグナは7室を金星が支配していますが、この金星は12室(ベッド上の快樂)を同時に支配しているため、蠍座ラグナにおいては、パートナー関係において、性的関係が強調されてきます。

このように蠍座ラグナの特徴を列挙して来ましたが、蠍座ラグナの有名人として、マリアカラスを挙げることが出来ます。

Ke	<b>Maria Callas</b> <b>1923-12-2 7:07</b> <b>New York, USA</b>		
			Ra
Ve	<b>Asc</b> <b>Ju Su</b> <b>Me</b>	<b>Sa</b> <b>Ma</b>	Mo

			Ve
Ke Me	D/9		
Mo			Ra
As	<b>Sa Ma</b> <b>Su</b>		Ju

彼女は海運王のオナシス（海運王であるというのが重要-水の象意）と別れた後も、いつオナシスから電話がかかって来てもいいように電話機を自分の手の届くところに常に置いていたと言います。マリアカラスは蠍座に火星が絡んでいないため、ストーカーのような過激な表現はとりませんでした。情念を内に秘めて持続させ続けました。これが蠍座の水の特徴です。

Edited by Y. H. H.